

日本職業野球聯盟公報

躍進日本の

スポーツ界を誇る

「聯盟創設成る

感銘すべき巨人軍の先驅

日本職業野球

平々坦々な球道を脱して
新時代の我國野球界を背
負つて起つべく東京巨人
軍が昭和九年十二月突如
として結成され、全國斯
界注視の中に結成直後早
くも米國遠征を舉行して
連日轉戦百餘回、米國A
Aクラスを撃破して豫想
外の好成績を挙げ堂々歸
朝した。此の巨人軍の革
明的大壯舉は、期せずし
て澎湃たる職業野球時代
の要求を呼び起し僅かに一ヶ年を待
たずして東京に東京セネタース、大
東京、名古屋に金鯱、名古屋の兩軍
大阪に大阪タイガース、阪急軍の六
チーム矢継早に結成されて巨人軍と
共に七チームの組織を見るに至り
殷盛を極めた學生野球を凌駕して日

本野球界は急轉直下多年の歴史であ
り待望であつた職業野球時代を現出
するに至つた、此の歴史的な輝かし
い新時代を醸成せしめた巨人軍の功
績たるや誠に偉大なるものがある。
斯くの如く加速的な發展を遂げた職
業野球各チームの宿望が、野球の王
者米國との間に世界選手権を争ひ其
の覇權を獲得せんとする目的である
事は論を俟たぬが此の遠大な理想達
成の爲めには全日本の職業野球聯盟
を組織してフェニアアプレの精神と
スポーツマンシップを保ち強力なチ
ームに發達さす事に在りとして東京
巨人軍市岡専務の提唱に依り全日本
職業野球聯盟の組織をなすべく、本
年一月二十日東京銀座菊正ビルに於
て第一回會合を開き各俱樂部代表者
參集の上選手争奪の惡弊防止、スケ
ージュル統制の大綱を先づ申合せて

發行所
東京市京橋區銀座三ノ一
日本職業野球聯盟事務局
電話號碼 三〇〇四
發行編輯人 小山 著
印刷所 土生井印刷所
(非賣品)

第一步に入り二月五日には早くも日
本工業俱樂部に於て盛大な創立總會
を開き中央球界の先輩、斯道に關係
を有する名士多數を招待して披露の
宴を張り聯盟の組織を發表するに至
る。爾來十回に及ぶ協議會に於て各
俱樂部の代表者は慎重審議を續け、
四月二十九日から行ふべきリーグ戦
スケージュルの外聯盟綱領、役員、規
約の制定、選手登録、專屬審判、事務
局の設置等の議案を中心に細胞的な
組織の正式決定を見るに至り、總裁
に大隈信常侯、副總裁に安藤信昭子、
松方正雄兩氏を推薦するを得た外相
談役、評議員、理事等の聯盟役員は斯
道に關係を有する中央、地方最高の
名士を以つて組織され、更に又登録
されたる百三十餘名の監督選手の諸
氏悉くが日本野球界の精華を誇るに
足る練達の花形のみである事は、日
本球界にも米國に次ぐ世界的大職業
野球聯盟を極めて短時日の間に創設し
得たものである。

聯盟結成に至る迄の會議の大様の
を簡單に記すれば左の如くである。

公報題字は

大隈總裁執筆

此の公報使用題字は聯盟總裁大隈信
常侯の執筆されたものであります

- 一月二十日 於菊正ビル (順序不同)
- 東京巨人軍 市岡忠男
 - 安樂兼直
 - 鈴木惣太郎
 - 野口 務
 - 富樫興一
 - 大阪タイガース 訖摩治利
 - 名古屋軍 田中 齊
 - 池田 豊
 - 岡田源三郎
 - 大宮伍三郎
 - 二出川延明
 - 聯盟組織の決定
 - 一、選手争奪の防止申合せ條項
 - 一、除名處分及是に類する選手
 - の處置
 - 一、第一回選手權大會舉行申合
 - せ
 - 一、加盟以外の俱樂部に對する
 - 選手取扱方
 - 一、申合せ違反に對する制裁金
 - 一月二十四日 於菊正ビル
 - 大阪タイガース 富樫興一
 - 金 鯱 軍 二出川延明
 - 山口 勳
 - 東京セネタース 訖摩治利
 - 岬 洋一
 - 名古屋軍 田中 齊
 - 河野安通志
 - 阪急軍 村上 實
 - 東京巨人軍 市岡忠男
 - 鈴木惣太郎
 - 安樂兼直
 - 野口 務

一、聯盟準備委員長として市岡忠男氏選出就任
 一、巨人軍提出規約草案の審議
 一、聯盟創立總會開催の件
 二月五日 於工業俱樂部
 出席者

總會に於て選出されたる各俱樂部代表者出席
 一、聯盟主催以外の二月八日東京巨人軍、金鯨軍との對抗初試合以降四月中旬迄の試合の件

一、左記俱樂部遠征計畫の件
 東京セネターズ
 三月 九州遠征
 五月) 滿鮮遠征(未交渉)
 六月) 滿鮮遠征(未交渉)

金 鯨 軍

三月 近畿、四國、中國、九州地方遠征
 四月) 滿鮮地方遠征

東京 巨人軍

二月十四日出帆、北米合衆國及加奈陀遠征六月五日歸國

一、聯盟第一回主催の試合は四月二十九日より五月三十一日迄
 一、主催試合に附隨する事務、審判等決定
 二月二十五日 於 菊正ビル
 代表 委員出席

一、市岡準備委員長より創立總會後の文書收發、申出事項會計事項等の報告あり承認

一、左記規約の各項審議修正決定
 一、聯盟名稱、目的、ハ、構成、ニ、權利義務、ホ、機關、ヘ、役員、ト、聯盟事務局チ、會計、リ、聯盟公報、ヌ、印鑑、ル、徽章、ヲ、罰則

二月二十六日(續行)於菊正ビル
 出席者前と同じ
 一、監督、選手の登録條件の審議
 二月二十七日(續行)於菊正ビル
 出席者前と同じ

一、試合収入金配分
 一、試合入場券
 一、宣傳
 一、審判員
 一、聯盟役員候補者届出の件
 三月十日 於 菊正ビル
 代表委員出席

一、審判官に對する旅費其他規程申合せ
 一、新聞社後援に對する件
 一、聯盟所定の試合規則の起草
 一、河野安通志氏へ依頼の件
 一、聯盟事務局の件
 所在地を當分巨人軍事務所内に置くこと

一、會計監査の人選
 一、聯盟加入金
 一、聯盟主催試合供託金
 三月十一日(續行)於 菊正ビル
 出席者前と同じ

一、選手證決定
 一、聯盟徽章章交附範圍
 三月十二日(續行)於 菊正ビル
 出席者前と同じ

一、選手證決定
 一、聯盟徽章章交附範圍
 三月十二日(續行)於 菊正ビル
 出席者前と同じ

一、聯盟理事選出決定 七名
 三月十三日(續行)於 菊正ビル
 出席者前と同じ
 一、四月七日理事會及臨時總會
 議案審議
 一、聯盟結成記念全日本選手權
 試合大會及是が収入金配分
 方法 以上

第一回會合記念眞寫(於菊正ビル)
 左から市岡、富樫、田中、池田、鈴木、野口、岡田、安樂、二出川、訖摩、柳、の諸氏



正式決定を見た

聯盟臨時總會

昭和十一年四月七日午後二時から東京市京橋區銀座西三ノ一菊正ビルに於て日本職業野球聯盟臨時總會を開催し左の通り附議滿場一致可決され

當日の出席者 (順不同)
 聯盟總裁 大隈 信常 侯
 聯盟副總裁 安藤 信昭 子

株式會社大阪野球俱樂部

富樫 興一

株式會社大日本東京野球俱樂部

田中 義一

株式會社大日本野球聯盟東京協會

野口 忠男

株式會社大日本野球聯盟名古屋協會

鈴木龍二代理 原 田 勇 造

河野安通志代理 田 勇 造

株式會社東京野球協會

訖摩 治利

株式會社名古屋野球俱樂部

岡田源三郎代理 赤 嶺 昌 志

大阪阪急野球協會

仁木 積一

準備委員長市岡忠男氏ハ常聯盟ノ臨時總會ノ開會ヲ宣シ議長ニ聯盟總裁大隈信常侯ヲ推薦ス市岡準備委員長ハ聯盟綱領及規約ノ起草審議ノ經過ヲ報告シ出席者一同之ヲ承認セリ

村上 實

議案第一號聯盟綱領及規約承認ノ件

ハ滿場一致可決

議案第二號聯盟役員決定ノ件

聯盟總裁ニ大隈信常侯聯盟副總裁ニ松方正雄氏及安藤信昭子氏ヲ正式推戴スルコトニ滿場一致可決

會計監査ニ大宮伍三郎、田中義一兩氏ヲ滿場一致ヲ以テ選出シ就任承諾アリタリ

議案第三號專屬審判官決定ノ件

專屬審判官ノ候補者トシテ澤東洋男川久保喜一、金政卯一ノ三名ヲ選出シタルニ聯盟總裁ヨリ正式ニ此三名ヲ指名シ確定トナル

安藤 信昭 子

大隈 信常 侯

安藤 信昭 子

大隈 信常 侯

安藤 信昭 子

大隈 信常 侯

安藤 信昭 子

尙今後專屬審判官ハ聯盟理事會ニ於テ詮衡シ聯盟總裁ノ決裁ヲ經テ就任セシムル事ニ滿場一致決議セリ
議案第四號相談役決定ノ件
相談役トシテノ諸氏ヲ推薦スル事ニ滿場一致可決ソレゾレ承認ヲ得タリ
(五十音順)
令西與三郎
木村小左衛門

聯盟創立總會

二月五日正午
工業俱樂部に開催

二月五日東京丸の内日本工業俱樂部に於て日本職業野球聯盟創立總會を開催された

出席者

- 株式會社大阪野球俱樂部(七名)
取締役會長 松方正雄
専務取締役 富樫興一
常務取締役 田中義一
取締役 吉江昌世
支配人 中川政人
監督 森茂雄
選手 若林忠志
- 株式會社大日本東京野球俱樂部(八名)
取締役會長 大隈信常
専務取締役 市岡忠男
取締役 後藤國彦
取締役 正力松太郎
取締役 林甚之丞
取締役 庄田良

小林一三
小山松壽
正力松太郎
森岡二郎
議案第五號初年度豫算ノ件
初年度豫算ノ編成及決定ヲ聯盟理事會ニ委任スル事ニ滿場一致可決トナリ議長ハ聯盟總會ノ終了ヲ告ケ閉會ス

- 株式會社大日本野球聯盟東京協會(三名)
取締役社長 森岡二郎
常務取締役 鈴木龍二
監督 永井武雄
- 株式會社大日本野球聯盟名古屋協會(二名)
専務取締役 田中齊
常務取締役 河野安通志
- 株式會社名古屋野球俱樂部(五名)
取締役 森一兵
取締役 大宮伍三郎
監督 岡田源三郎
監 二出川延明
山口勳
- 株式會社東京野球協會(六名)
理事長 安藤信昭

歴史的な創立披露宴

盛大を極む

常務理事 佐藤秀松
同 佐久間國三
理事 詫摩治利
監督 横澤三郎
マネジャー 岬洋一
大阪阪急野球協會(三名)
代表 仁木積一
監督 三宅大輔
同 村上實
市岡準備委員長から聯盟創立に至る迄の経過報告をなして後、松方正雄氏聯盟總裁に大隈信常侯を推戴するの動議を提出、滿場拍手裡に可決、大隈信常侯就任を承諾さる。
河野安通志氏の動議に依り聯盟副總裁は總裁の指名にて決定する事に承認、大隈總裁は、副總裁として、安藤信昭子、松方正雄兩氏を指名、滿場一致可決兩氏就任を承諾さる、終つて聯盟規約起草審議委員を各俱樂部より二名宛左の如く選出。
大阪タイガース 富樫興一
大東京軍 鈴木龍二
名古屋軍 伊藤勝三
東京巨人軍 田中齊
東京セネタース 市岡忠男
金 鯨軍 安樂兼直
阪急軍 詫摩治利
阪 急軍 横澤三郎
大宮伍三郎
岡田源三郎
三宅大輔
村上實

工業俱樂部に於ける創立總會の直後別室に於て日本球界の大先輩六大學聯盟の首腦者並に都下新聞通信社の運動部の諸氏を招待して聯盟結成披露の宴を催した。臨席された方々は左の通り
名士及球界先輩(五十音順)

- 稻門俱樂部 泉谷 祐勝
- 明治大學野球部 岩本勇次郎
- 早稲田大學幹事 大島 正一
- 警視廳保安課長 國藤耕一郎
- 立教野球部長 久保田正次
- 東鐵野球部マネージャー 久保田善久

審判

三田俱樂部 櫻井彌一郎
 三田俱樂部 島田善介
 駿臺野球俱樂部 錢村辰巳
 東京大學野球聯 平沼亮三
 盟會長 松井清吉
 警視廳興行係長 松本瀧藏
 東京大學野球聯 松本富三
 盟規則委員 松本富三
 東鐵野球部マネージャー 松本富三
 東京中央放送局 松内則三
 アナウンサー 中野五郎
 稻門俱樂部 中野五郎

新聞雜誌社

國民新聞社
 ジャパン
 アドヴァンタイザ
 時事新報社
 中外商業新報社
 電報通信社
 同盟通信社
 東京朝日新聞社
 東京毎日新聞社
 名古屋新聞社
 野球界社
 讀賣新聞社

市間準備委員長は經過と聯盟主催大會の日程等を報告して開會の挨拶をなし、大隈總裁から

「新時代を背負ひ起つべき職業野球界は、厳格な規律統制を保つべき聯盟組織に依つて初めて正しき發達と各チームの技術的進歩のある事を確信するものであるよろしく御指導御鞭撻を願ひ度い」との挨拶あり、次いで松方副總裁の挨拶、平沼東京大學野球聯盟會長、

先輩を代表した櫻井彌一郎、泉谷新藤兩氏、記者俱樂部を代表して太田茂氏等の祝辭あり、平沼氏の發聲にて此の球界權威者と、野球に關心深き名士の一堂に會した歴史的會合は極めて盛會に午後五時閉會した。



寫眞は創立披露宴と大隈總裁の挨拶

◎聯盟綱領

一、我が聯盟は野球の眞精神を發揮し以て國民精神の健全なる發達に協力せんことを期す
 一、我が聯盟はフェアプレーの精神を遵守し模範的試合の舉行を期す
 一、我が聯盟は日本野球の健全且つ飛躍的發達を期し以て世界選手權の獲得を期す

決定せる聯盟の陣容

總裁 大隈 信常侯
 副總裁 安藤 信昭子
 同 松方 正雄
 相談役 今西 與三郎
 正力 松太郎
 森岡 二郎
 木村 小左衛門
 小林 一三
 小中 齋
 岡 喜太郎
 石井 五郎
 岡 喜太郎

評議員

田中 齋
 細野 喜太郎
 吉野 昌
 丸山 繁
 後藤 治
 林 甚之丞
 林 恒之丞
 田邊 恒之丞
 金光 庸
 中澤 不二雄
 下出 義雄
 浦邊 金茂
 梅田 愷
 工藤 愷
 南波 禮吉
 曾我 正雄
 鏡山 忠
 岩瀨 男

會計監査

大宮 伍三郎
 田中 義一
 外十名 未定
 安倍 親雄
 加納 謙吉
 久保 浩
 和田 薫
 林 藤之輔
 重三郎

聯盟理事會

理事長 市岡 忠男
 副理事長 富樫 興一
 理事 鈴木 龍二
 理事 河野 安通
 理事 詫摩 治利
 理事 岡田 源三郎
 理事 仁木 積一

聯盟專屬審判官

澤 東洋男
 川久保 喜一
 金政 卯一

聯盟事務局

事務局長 小山 蕃
 會計 磯本 篤郎
 書記 磯本 篤郎

大阪に於て

聯盟理事會

四月二十九日から第一回聯盟主催のリーグ戦が甲子園に於て舉行されるので、前日の二十八日には、大阪に於て聯盟理事會及び監督、審判を加へた協議會を開催し審判に關する事の外種々協議することとなつた

加盟俱樂部の組織と役員

結成後の其の戦跡

加盟各俱樂部の組織及び役員名と、今春結成以來四月下旬迄の試合戦跡は左の如くである。但し東京巨人軍は第二回渡米(二月十四日出帆、直前の金鯨軍結成披露巨人軍渡米送別試合から四月十一日迄のアメリカに於ける戦跡を示したものである

一、商 號

株式會社大日本東京野球俱樂部

一、チーム名 東京巨人軍

一、資本金 五十萬圓

一、創立 昭和九年十二月二十六日

一、所在地 東京市京橋區銀座西三丁目一番地(菊正ビル四三號室)

一、役員

- 取締役會長 大隈 信常
- 事務取締役 市岡 忠男
- 取締役 安樂 兼直
- 後藤 國彦
- 正力 松太郎
- 庄 田 良
- 林 甚之丞
- 淺沼 譽夫
- 金光 庸夫
- 田邊 恒之
- 林 莊 治

顧問 フランク・ジョー、オドウル

一、マネジャー 鈴木惣太郎

一、事務員 安樂 兼直

會計 野口 務

同 大野 岩男

同 飯泉 春雄

東京巨人軍

二、九 金鯨軍 一〇—三敗

二、一〇 同 八A—三勝

二、一一 同 四A—二勝

三月 一 日 アラメダ全星軍 九—三敗

同 二 日 桑港シールズ 五—〇勝

同 三 日 朝日クラブ 三—二勝

同 四 日 メリスビル全星軍 一五—一勝

同 五 日 桑港シールズ 七—一勝

同 六 日 スタックトン全星軍 七—〇勝

同 七 日 桑港シールズ 一六—七敗

同 八 日 桑港シールズ 九—〇敗

同 九 日 桑港シールズ 九—〇敗

同 桑港シールズ 九—〇敗

同 フレスノ全星軍 十一—二勝

同 桑港シールズ 十三—四敗

同 桑港シールズ 三—二敗

三月 十二 日 桑港シールズ 六—二勝

同 十三 日 フレスノ全星軍 十一—三勝

同 十四 日 オークランド

同 十五 日 オークス 四—〇敗

同 十六 日 オークランド・オークス 八—三勝

同 十七 日 サンタクルーズ 十一—五勝

同 十八 日 ミツシヨシ・レッツ 一—〇敗

同 十九 日 ミツシヨシ・レッツ 五—〇敗

同 二十 日 シヤトル・インデ 九A—〇敗

同 廿一 日 シヤトル・インデ 六A—〇敗

同 廿二 日 シヤトル・インデ 五A—三敗

同 廿三 日 シヤトル・インデ 十一—八勝

同 廿四 日 ロサンゼルス・ア 七A—五敗

同 廿五 日 ハリウッド・スター 四—一勝

同 廿六 日 ハリウッド・スター 四—一勝

同 廿六 日 ハリウッド・スター 四—一勝

同 メキシコ代表軍 十四—〇勝

同 廿七日 ロサンゼルス・日本軍 十八—〇勝

同 廿八 日 ガタルーブ全星軍 四—三勝

同 廿九 日 ロサンゼルス日本軍 八—三勝

同 卅日 エルセントロ全星軍 九—六敗

同 卅一日 エルセントロ全星軍 八—二勝

同 四月 一 日 フェニックス全星軍 九—二勝

同 四月 三 日 スーアインクラブ 三—二敗

同 五 日 テキサス・リ 五A—三敗

同 七 日 テキサス・リーグ 六—二敗

同 九 日 テキサス・グラス 四—一敗

同 十 日 テキサス・グラス 七A—二敗

同 十一 日 テキサス・トルサ 九—八勝

同 十二 日 テキサス・トルサ 九—八勝

一、商 號

株式會社大阪野球俱樂部

一、チーム名 大阪タイガース

一、資本金 貳拾萬圓

一、創立 昭和十年十二月十日

一、所在地 大阪市北區中ノ島二ノ二五 江南ビル四〇七號室

一、所在地 大阪市北區中ノ島二ノ二五 江南ビル四〇七號室

一、役員
 取締役會長 松方正雄
 専務取締役 富樫興一
 常務取締役 田中義一
 取締役 吉江昌世
 取締役兼支配人 中川政人
 監査役 石井五郎
 大林義雄
 同、マネジャー 中川政人
 田坂岩男
 一、事務員 青木康一
 藤村清章

大阪タイガース
 四月十八日迄試合ナシ

一、商號
 株式會社東京野球協會
 一、タイムム名東京セネタース
 一、資本金 二十萬圓
 一、創立
 昭和十一年一月十五日

一、所在地
 東京市麹町區內幸町一ノ七
 幸ビル二階十六號室

一、役員
 理事長 安藤信昭
 常務理事 佐久間國三
 理事 佐藤秀松
 木村小左衛門
 南波禮吉
 同 岩瀬梯
 同 訖摩治利
 同 會我正雄
 同 三谷卓也
 同 有馬頼寧
 同 鏡山忠男
 同 顧問 埃ツチハシ
 同

支配人 藪重三郎
 一、マネジャー 江藤洋一
 一、事務員 井原安
 會計係 小林次男
 宣傳係 小林次男

東京セネタース

二月一五日 金鯨軍 二A一勝
 二月一六日 同 三一一敗
 二月一六日 同 六A一三敗
 三月八日 全靜岡 八A一三勝
 三月一五 日 金鯨軍 六A四勝
 三月一八日 下關鐵道 二九一四勝
 三月二二日 八幡俱樂部 二二A一〇勝
 三月二二日 門鐵小倉工場 七一三勝
 三月二二日 熊本鐵道 一二二五勝
 三月二三日 日本寧素肥料 九A一〇勝
 三月二四日 門鐵小倉工場 一〇A〇勝
 三月二八日 阪急軍 九一六敗
 三月二九日 同 五一三勝
 四月四日 同 七A一〇勝
 四月五日 全橫濱

阪急軍 三一〇敗
 四月六日 金鯨軍 五A一二勝
 四月一日 全大宮 四A一〇勝
 四月一二日 仙臺鐵道局 七A一五勝

一、商號
 株式會社大日本野球聯盟
 名古屋協會
 一、タイムム名 名古屋軍
 一、資本金 十五萬圓
 一、創立
 昭和十一年一月十五日

一、所在地
 名古屋市中區御幸本町通二ノ二四新愛知新聞社三階

一、役員
 取締役會長 大野正直
 取締役副會長 大島一郎
 専務取締役 田中齊
 常務取締役 河野安通志
 後藤新十郎
 取締役 野崎誠一
 山田茂三
 西尾正太郎
 岡田伊三郎
 林田重次
 見田一衛
 大島一衛
 大島宇吉
 下出義雄
 永岡彌兵衛
 押川清
 同、マネジャー 小玉與太郎
 一、事務員 同

名古屋軍
 三月二二日 大東京 七A六一勝
 三月二九日 同 一〇一七勝
 四月五日 阪急 四一三勝
 四月七日 大東京 九一八敗
 四月一一日 阪急 七A二一敗

一、商號
 株式會社大日本野球聯盟
 東京協會
 一、タイムム名 大東京軍
 一、資本金 十五萬圓
 一、創立
 昭和十一年二月十五日

一、所在地
 東京市京橋區銀座西七ノ二
 國民新聞社内

一、役員
 取締役會長 宮田光雄
 取締役副會長 森岡二朗
 取締役副會長 長延連
 専務取締役 田中齊
 常務取締役 鈴木龍二
 取締役 大野正直
 大島一衛
 白井正福
 大島一郎
 野崎誠一
 鍛冶良作
 原田英夫
 同、マネジャー 片岡

大東京軍

三月二二日	名古屋軍	七A一六敗
三月二九日	同	一〇一七敗
四月四日	阪急軍	六一四敗
四月五日	東京瓦斯	一五一七敗
四月七日	名古屋軍	九A一八勝
四月十一日	名古屋(二軍)	一〇一二勝
一、商號	株式會社名古屋野球俱樂部	
一、チーム名	名古屋金鯱軍	
一、資本金	二十萬圓	
一、創立	昭和十一年二月二十八日	
一、所在地	名古屋市中區西川端町一ノ五	
一、役員	代表取締役 森 一兵	
取締役	岡田源三郎	
同	大宮伍三郎	
同	永岡源三郎	
同	浦邊金徳	
同	小山龍三	
同	相談役 興良松三郎	
一、マネジャー	山口 勳	
	赤嶺 昌志	
名古屋金鯱軍		
二月九日	巨人軍	一〇一三勝
二月一〇日	同	八A一三敗
二月十一日	同	

同

二月十五日	セネタース	四A一二敗
二月一六日	同	二A一一敗
二月一六日	同	三一勝
三月八日	同	六A一三勝
三月八日	全靜岡	十八一〇勝
三月八日	セネタース	六一四敗
三月二〇日	阪急	七一勝
三月二二日	同	四一二敗
三月二三日	同	一五一勝
四月五日	全橫濱	一二A五勝
四月六日	セネタース	五A一二敗
一、商號	大阪阪急野球協會	
一、チーム名	阪急軍	
一、所在地	大阪市北區梅田、阪急電鐵會社内	
一、役員	阪急軍	
三月二〇日	金鯱軍	七一敗
三月二二日	同	四一二勝
三月二三日	同	一五一敗
三月二八日	セネタース	九一六勝

三月二十九日

三月二十九日	同	五一三敗
四月四日	大東京	六一四勝
四月五日	セネタース	三一〇勝
同	名古屋軍	四一三敗
四月二十九日 (天曇節)	大東京軍	名古屋軍 (十一時)
	タイガース	金鯱軍 (一時)
	セネタース	阪急軍 (三時)
卅日 (木)	タイガース	名古屋軍 (一時)
	阪急軍	大東京軍 (三時)
五月一日 (金)	金鯱軍	セネタース (一時)
	阪急軍	タイガース (三時)
二日 (土)	金鯱軍	名古屋軍 (一時)
	セネタース	大東京軍 (三時)
三日 (日)	名古屋軍	阪急軍 (一時)
	タイガース	大東京軍 (三時)
四日 (月)	タイガース	セネタース (一時)
	金鯱軍	阪急軍 (三時)
五日 (火)	大東京軍	金鯱軍 (一時)
	名古屋軍	セネタース (三時)
九日 (土)	金鯱軍	大東京軍 (一時)
	名古屋軍	セネタース (三時)
十日 (日)	セネタース	金鯱軍 (一時)

第一回聯盟主催

リーグ戦日程決る

四月十一日	同	七A一二勝
大東京軍	名古屋軍 (三時)	
十五日 (金)	名古屋軍	大東京軍 (一時)
	阪急軍	セネタース (三時)
十六日 (土)	阪急軍	名古屋軍 (一時)
	タイガース	大東京軍 (三時)
十七日 (日)	セネタース	名古屋軍 (一時)
	阪急軍	タイガース (三時)
廿二日 (金)	大東京軍	阪急軍 (三時)
廿三日 (土)	セネタース	大東京軍 (一時)
	名古屋軍	タイガース (三時)
廿四日 (金)	名古屋軍	セネタース (一時)
	タイガース	阪急軍 (三時)
卅日 (土)	名古屋軍	セネタース (一時)
	大東京軍	タイガース (三時)
卅一日 (日)	セネタース	タイガース (一時)
	阪急軍	大東京軍 (三時)



聯盟徽章 (實物大)

【以上甲子園球場】 【以上大宮球場】 【以上鳴海球場】 【以上寶塚球場】 【以上横濱又八戸塚】

世界に冠たる玉澤の野球具



斯界の御専用球は
玉澤のアメリカンボール

プロフェショナルリーグボールは米國職業團ボール規約に準じ一個一個精密に検査せるものあります

玉澤のプロフェショナル用
グローブとミット



す。内野・外野手向各種あります。米國一流選手の御愛用の型の長を採り作製した



を博せる逸品であります。特殊装置を施せるものでありまして。最も好評。カクレン氏の使用せる型であり軽快無比その上

運動用品

東 大 名
京 連 古
屋

玉 澤

牛込區山吹町一〇
市電矢來下終點
電話牛込 1328・4067